

(第2号様式)

コザ第2495号
令和7年3月17日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立コザ高等学校
校長 大嶺 哲司
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和6年7月11日 (木)16時~	場所	コザ高等学校校長室	出席 状況	4名
第2回	日時	令和6年12月18日 (水)16時~	場所	コザ高等学校校長室	出席 状況	3名
第3回	日時	令和7年3月13日 (木)16時~	場所	コザ高等学校校長室	出席 状況	3名

2 学校評議員に求めた事項

- ① コザ高校に対する要望
- ② コザ高校に対する提言
- ③ コザ高校に対する評価

3 学校評議員の意見

- ① 身なりなどを見っていても落ち着いており、部活や勉強に集中する雰囲気があるのではないかと感じる。また、出席状況や入試倍率からみても「コザ高校は楽しい」という思いが表れていると感じる。
- ② 地域のボランティアに積極的にかかわるよう呼び掛けてほしい。
- ③ 地域の育英奨学金について応募者が少ないので周知してほしい。
- ④ 2学年の探究について「地域を知る」という取り組みは、これまでになかったのでとてもよい取り組みだと感じる。継続してほしい。
- ⑤ 進路指導を1、2年のときから継続的に取り組み、3年で良い結果が出るよう頑張ってほしい。
- ⑥ 生徒が人権についての意識を高くもっていると思う。子供たちの思いを大切にして、今後も良い学校づくりに取り組んでほしい。
- ⑦ 定時制の生徒が昔と比べてだいぶ落ち着いてきている。特別支援教育支援員の配置がいい結果に結びついているのではないか。

4 学校運営に反映した事項

- ① 早期進路指導の取組として、1・2学年向けの進路講演会や保護者向け進路学習会を開催した。また、「ClassiTime30」と称し、生徒及び教職員双方に学習支援ツール「Classi」のさらなる活用を促し、生徒の自主学習活用や学習時間確保へと繋げる取組を行った。
- ② 生徒・教職員の人権意識の高揚にむけた取組として、外部講師を招聘した講演会や「生徒と先生の良い関係」について考える生徒検討委員会による全校生徒・職員へのメッセージ発信を行った。

5 課題その他

- ① 生徒の学校評価アンケートについて良い意見も多いが、問題点を指摘している意見も多い。学校として真摯に向き合って改善する必要がある。特に、トイレやクーラーなどの問題は切実である。
- ② 令和3年の運動部員自死事案の取組について、とてもきめ細かい取り組みがされている。継続して続けてほしい。